

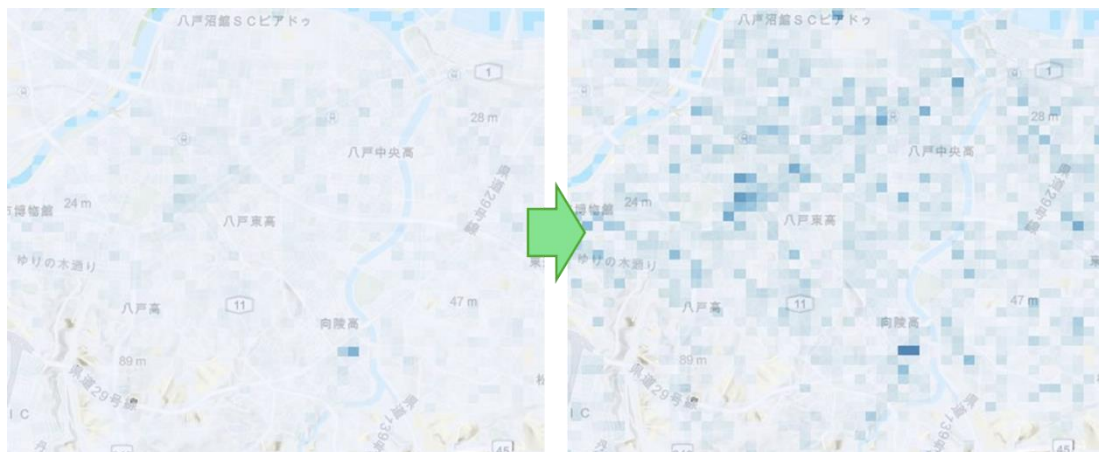
ArcGIS Online 上でのレイヤーの シンボル設定と保存 手順書

2024/6/21

ESRIジャパン株式会社

概要

人流データ オンライン サービス (KDDI Location Data 版) (以下、人流オンライン) で提供している各種滞在人口レイヤーは、都心部でも滞在人口の過多が分かるようなシンボル設定になっているため、地方部では違いが分かりにくくなっています。ここでは、ArcGIS Online 上でシンボルを変更し、レイヤーを保存する方法と保存したレイヤーを活用する方法を紹介します。



シンボルの変更と保存の手順

ステップ 1: シンボルの変更

- ① 人流オンラインがグループ共有された ArcGIS Online アカウントで ArcGIS Online にサインインします。
- ② [マップ] タブを選択して [Map Viewer] を開きます。
- ③ [コンテンツ] ツールバーで [レイヤー] ウィンドウを開き、[追加] をクリックして [レイヤーの追加] ウィンドウを開きます。



- ④ [マイ コンテンツ] → [グループ] を選択し、シンボル変更を行いたい「KLD滞在人口」レイヤーを検索して追加します。ここでは、「KLD滞在人口 (最新月分)」レイヤーを追加します。



- ⑤ [レイヤーの追加] ウィンドウ左上の [戻る] をクリックして [レイヤー] ウィンドウに戻り、「KLD滞在人口 (最新月分)」の [オプション] → [複製] を選択します。



- ⑥ コピーされたレイヤーの [オプション] → [名前の変更] を選択して、任意のタイトルを入力し、[OK] をクリックします。



本手順書では、「KLD滞在人口(最新月分)-地方用」としています。

- ⑦ [設定] ツールバーで [シンボル] ウィンドウを開き、[② スタイルの選択] で [スタイル オプション] をクリックします。



[シンボル] ウィンドウ上部の黒い部分をクリックすると、異なるレイヤーへの設定に素早く切り替えることができます。



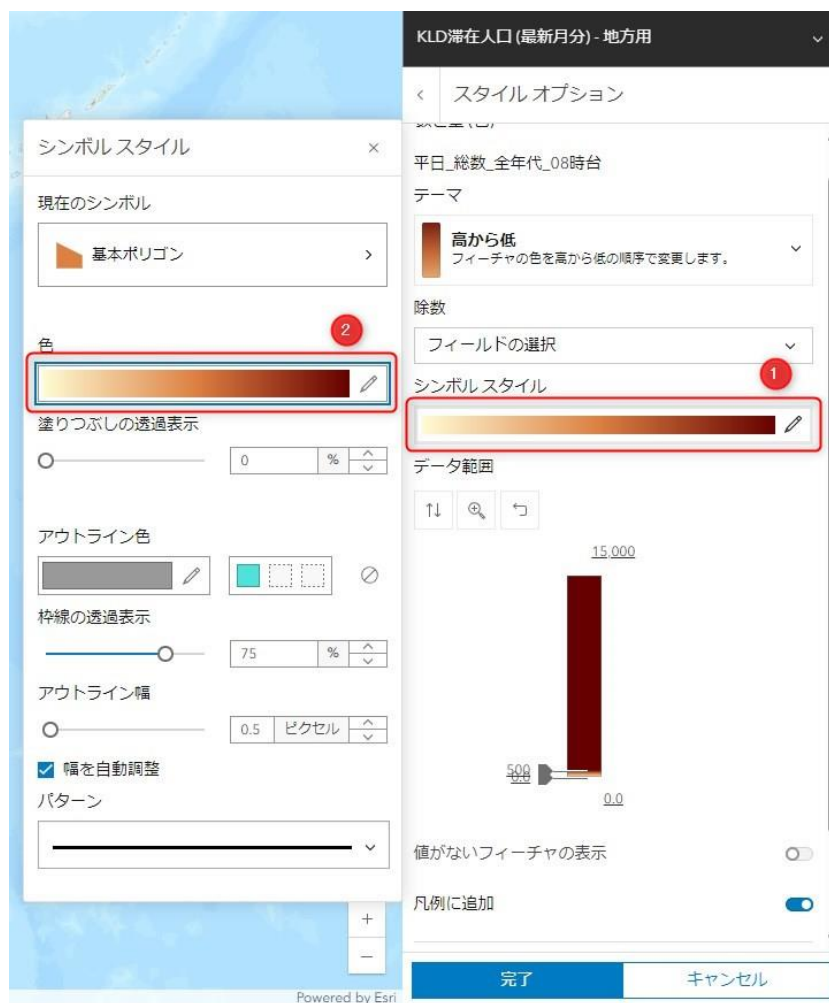
人流オンラインの場合、フィーチャ数が非常に多いため、既存シンボルの読み込みに比較的長時間（1分程度）かかります。

- ⑧ [データ範囲] の「1,500」を異なる数値に変更します。ここでは、「500」と入力して Enter キーを押します。

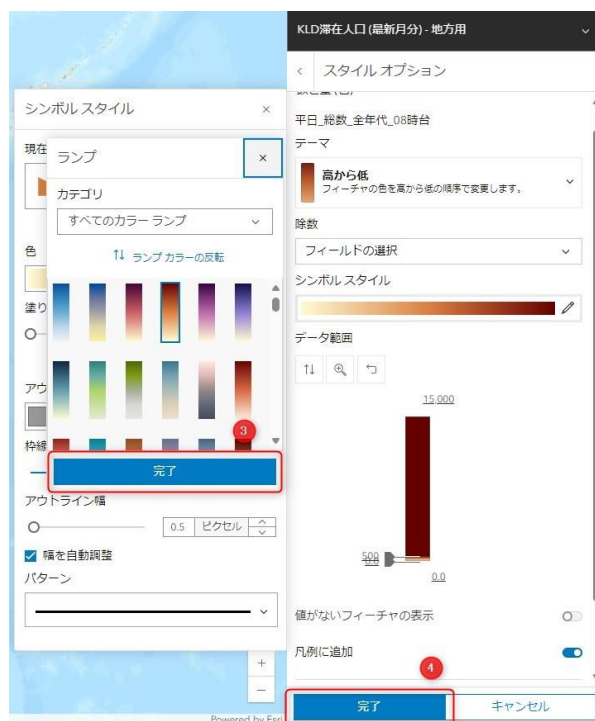
データ範囲



- ⑨ [シンボルスタイル] ウィンドウを開き、[色] から [ランプ] ウィンドウを開きます。



- ⑩ 任意のカラー ランプを選択して[完了]をクリックし、[スタイル オプション]の[完了] もクリックします。



以上で、異なるシンボルを設定することができました。

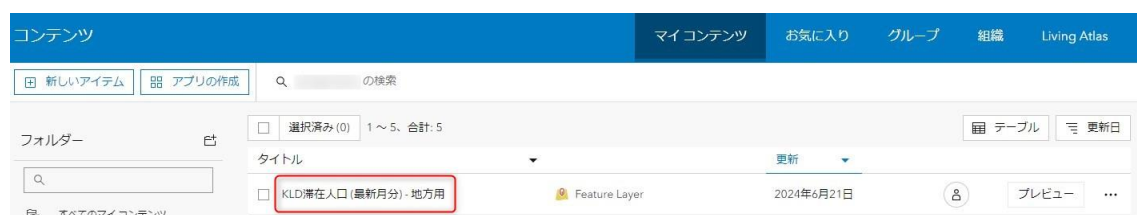
ステップ 2: シンボルを変更したレイヤーの保存

ステップ 1 で作成したシンボル変更済みレイヤーを、他の Web マップや ArcGIS Pro から使用できるようにレイヤーとして保存します。

- ① シンボルを変更したレイヤーの [オプション] → [名前を付けて保存] を選択します。



- ② [名前を付けて保存] ダイアログで任意のタイトルなどを設定して、[保存] をクリックします。[コンテンツ] タブ → [マイ コンテンツ] タブに作成したレイヤーが保存されます。



作成したレイヤーの追加方法

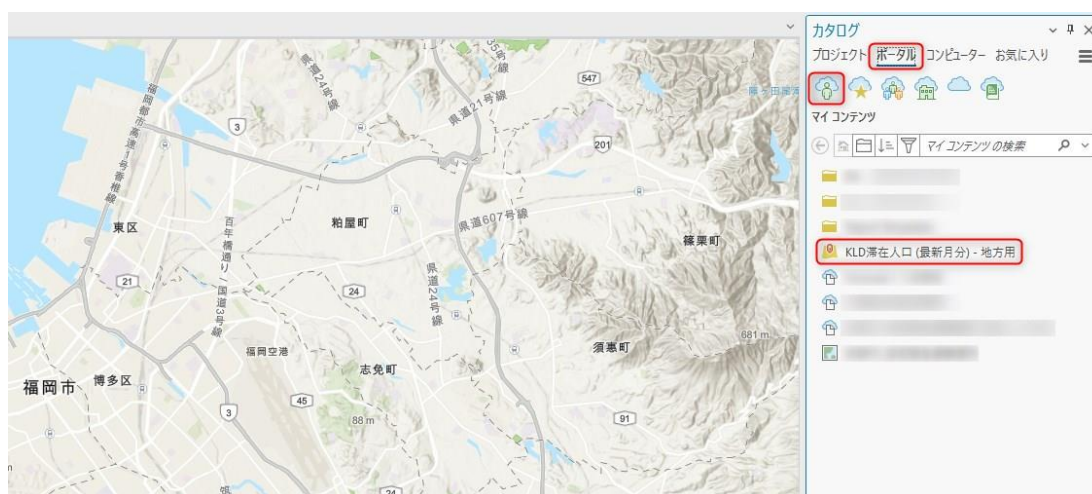
Map Viewer の場合

- [レイヤーの追加] ウィンドウの [マイ コンテンツ] から、保存したレイヤーをマップに追加します。



ArcGIS Pro の場合

- [カタログ] ウィンドウ → [ポータル] → [マイ コンテンツ] から、保存したレイヤーを右クリックして [現在のマップに追加] またはマップにドラッグ & ドロップして追加します。



以上